

安全データシート

改訂日: 2022年9月9日

1. 製品及び会社情報	
化学品の名称	スルファミン酸(アミド硫酸)
推奨用途	試験研究用
会社名	米山薬品工業株式会社
住所	大阪市中央区道修町2丁目3番11号
電話番号	(06)6231-3555(大阪・本社) (03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田) (052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
整理番号	CC0250
2. 危険有害性の要約	
GHS分類	
健康に対する有害性	皮膚腐食性及び皮膚刺激性: 区分2 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分2A
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性): 区分3 水生環境有害性 長期(慢性): 区分3
ラベル要素	
絵表示又はシンボル	
注意喚起語	警告
危険有害性情報	皮膚刺激 強い眼刺激 水生生物に有害 長期的影響により水生生物に有害
注意書き	【安全対策】 取扱い後はよく手を洗うこと。 適切な保護手袋を着用すること。 適切な保護眼鏡、保護面を着用すること。 環境への放出を避けること。 【応急措置】 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。 皮膚に付着した場合、皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼に入った場合、眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。 【保管】 容器を密閉して涼しく換気の良い場所で施錠して保管すること。 【廃棄】 内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業に依頼して廃棄すること。
3. 組成、成分情報	
化学物質・混合物の区別	化学物質
化学名	アミド硫酸
別名	スルファミン酸
化学式	HOSO ₂ NH ₂
化学物質を特定できる一般的な番号	CAS RN: 5329-14-6
含有量	99.5%以上
官報公示整理番号(化審法、安衛法)	(1)-402 / 公表
その他	HSコード: 2811.19
4. 応急措置	
吸入した場合	新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	多量の水と石鹼で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 直ちに、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 直ちに、医師の診断、手当てを受けること。
予測できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状	吸入: 灼熱感、咳、息切れ 皮膚: 発赤、痛み、水疱 経口摂取: 胃痙攣、灼熱感、咽頭痛、嘔吐、ショック エーロゾルを吸入すると、肺水腫を引き起こすことがある。
医師に対する特別な注意事項	肺水腫の症状は 2~3 時間経過するまで現れない場合が多く、安静を保たないと悪化する。したがって、安静と経過観察が不可欠である。医師または医師が認定した者による適切な吸入療法の迅速な施行を検討する。

5. 火災時の措置	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類 棒状放水
適切な消火剤 使ってはならない消火剤 特有の危険有害性	火災時に刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。 加熱や燃焼により分解し、窒素酸化物、イオウ酸化物を含む有毒で腐食性のヒュームを生じる。 この物質の水溶液は強酸であり、塩基と激しく反応し、腐食性を示す。 塩素、発煙硝酸と激しく反応して、爆発の危険をもたらす。 水と徐々に反応し、硫酸水素アンモニウムを生成する。 危険でなければ火災区域から容器を移動する。 消火活動は風上から行い、有害なガスの吸入を避ける。 適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。
消火を行う者の保護	適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。
6. 漏出時の措置	全ての着火源を取り除く。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 密閉された場所に立入る前に換気する。 作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 環境中に放出してはならない。 漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。 水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。 プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	全ての着火源を取り除く。 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。 関係者以外の立入りを禁止する。 密閉された場所に立入る前に換気する。 作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。 環境中に放出してはならない。 漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。 水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。 プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。
環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化の方法及び機材	環境中に放出してはならない。 漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。 水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。 プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。
7. 取扱い及び保管上の注意	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。 取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 皮膚との接触を避けること。 眼に入れないこと。 『10. 安定性及び反応性』を参照。
取扱い 技術的対策(局所排気、全体換気等)	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。 取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 皮膚との接触を避けること。 眼に入れないこと。 『10. 安定性及び反応性』を参照。
安全取扱注意事項	取扱い後はよく手を洗うこと。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 皮膚との接触を避けること。 眼に入れないこと。 『10. 安定性及び反応性』を参照。
接触回避	『10. 安定性及び反応性』を参照。
保管 安全な保管条件	直射日光を避けて、換気の良い乾燥した冷所に保管する。 水濡れに注意する。 国連輸送法規で規定されている容器を使用する。
容器包装材料	国連輸送法規で規定されている容器を使用する。
8. 暴露防止及び保護措置	未設定 未設定 未設定 この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
許容濃度 管理濃度 日本産業衛生学会 ACGIH 設備対策	未設定 未設定 未設定 この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。
保護具 呼吸器の保護具 手の保護具 眼の保護具 皮膚及び身体の保護具	防塵マスク又は簡易防塵マスクを着用する。 ゴム手袋を着用する。 ゴーグルを着用する。 作業衣を着用する。
9. 物理的及び化学的性質	結晶又は結晶性粉末 白色 無臭 200 °C 該当情報なし 該当情報なし 該当情報なし 不燃性 不燃性 209°C 1.18 (1%溶液) (25 °C) 該当情報なし 水 : 21.3g/100g (20 °C) 該当情報なし 0.0000078 bar (20 °C) 2.15g/cm ³ 該当情報なし 該当情報なし
物理状態 色 臭い 融点/凝固点 沸点又は初留点及び沸点範囲 燃焼性 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界 引火点 自然発火温度 分解温度 pH 動粘性率(粘度) 溶解度 n-オクタノール/水分分配係数 蒸気圧 密度及び/又は相対密度 相対ガス密度 蒸発速度(酢酸ブチル=1)	結晶又は結晶性粉末 白色 無臭 200 °C 該当情報なし 該当情報なし 該当情報なし 不燃性 不燃性 209°C 1.18 (1%溶液) (25 °C) 該当情報なし 水 : 21.3g/100g (20 °C) 該当情報なし 0.0000078 bar (20 °C) 2.15g/cm ³ 該当情報なし 該当情報なし
10. 安定性及び反応性 反応性、化学的安定性	通常の取り扱いに於て安定である。

危険有害反応可能性	加熱や燃焼により分解し、窒素酸化物、イオウ酸化物を含む有毒で腐食性のヒュームを生じる。 この物質の水溶液は強酸であり、塩基と激しく反応し、腐食性を示す。 塩素、発煙硝酸と激しく反応して、爆発の危険をもたらす。 水と徐々に反応し、硫酸水素アンモニウムを生成する。
避けるべき条件 混触危険物質 危険有害な分解生成物	加熱や燃焼 塩基、塩素、発煙硝酸、水 窒素酸化物、イオウ酸化物を含む有毒で腐食性のヒューム、硫酸水素アンモニウム
11. 有害性情報	
急性毒性	経口：ラットのLD ₅₀ 値、>2000 mg/kg(OECD TG401:GLP)、3160 mg/kg、2065 mg/kg、1450 mg/kg、1600 mg/kg(以上、IUCLID(2000))より、区分外に相当3件、区分4に相当2件により、該当数の多いJIS分類基準の区分外(国連分類基準の区分5)とした。 経皮：該当情報なし 吸入：該当情報なし (粉塵)
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	ウサギを用いた試験(OECD TG404:GLP準拠)で刺激性あり(irritating)の結果(IUCLID(2000))、さらに別にウサギを用いた複数の試験では刺激性なし(not irritating)～重度の刺激性(highly irritating)の結果(IUCLID(2000))が得られている。これらの結果に加え、EU分類では、Xi; R36/38に分類されていることから、区分2とした。なお、1%溶液のpHが1.18との情報(Merck(14th, 2006))もある。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	ウサギを用いた試験(OECD TG405:GLP準拠)で刺激性あり(irritating)の結果(IUCLID(2000))、さらに別にウサギを用いた複数の試験では中等度の刺激性(moderately irritating)～重度の刺激性(highly irritating)の結果(IUCLID(2000))が得られている。これらの結果に加え、EU分類では、Xi; R36/38に分類されていることから、区分2Aとした。なお、1%溶液のpHが1.18との情報(Merck(14th, 2006))もある。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器：該当情報なし 皮膚：該当情報なし
生殖細胞変異原性	マウスに経口投与による赤血球を用いた小核試験(OECD TG474:GLP準拠)(体細胞in vivo変異原性試験)において陰性(IUCLID(2000))の結果に基づき、区分外とした。なお、in vitro試験では、Ames試験の陰性結果の報告がある(IUCLID(2000))。
発がん性 生殖毒性 特定標的臓器毒性(単回暴露) 特定標的臓器毒性(反復暴露)	該当情報なし 該当情報なし 該当情報なし ラットを用いた90日間混餌投与試験(OECD TG 408:GLP)において、高用量の20000 ppmで成長遅延、臓器重量増加、一部の動物では腎尿細管のわずかな脂肪変性以外に影響は認められていない(IUCLID(2000))。また、NOAELが10000 ppm(500 mg/kg bw/dayに相当)と報告されていることに基づき、経口経路では区分外に相当するが、他の投与経路によるデータがなく「分類できない」とした。なお、ヒトで酸性ヒュームの長期曝露により慢性咳を伴う気管支刺激や気管支肺炎がよく起こるとする記述(DHP(13th, 2002))がある。
誤えん有害性	該当情報なし
12. 環境影響情報	
生態毒性	短期：魚類(ファットヘッドミノー)における96時間LC ₅₀ = 70.3 mg/L(ECETOC(急性)TR91, 2003)であることから、区分3とした。 長期：急性毒性区分3であり、急速分解性がない(BIOWIN)ことから、区分3とした(慢性)た。
残留性・分解性 生体蓄積性 土壌中の移動性 オゾン層への有害性	該当情報なし 該当情報なし 該当情報なし 当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。
13. 廃棄上の注意	
残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。
14. 輸送上の注意	
国連番号	2967
品名(国連輸送名)	SULPHAMIC ACID
国連分類	8
容器等級	III
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 重量物を上積みしない。
国内規制がある場合の規制情報	
陸上輸送	消防法の規定に従う。
海上輸送	船舶安全法の規定に従う。
航空輸送	航空法の規定に従う。

応急措置指針番号

154

15. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法)
毒物及び劇物取締法
消防法
労働安全衛生法

指定化学物質に該当しない。
毒物及び劇物に該当しない。
危険物に該当しない。
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物[スルファミン酸]
[施行令別表9](2026年(令和8年4月1日)以降)
危険性又は有害性を調査すべき物[スルファミン酸](2026年(令和8年4
月1日)以降)
腐食性物質
腐食性物質
危険物・腐食性物質

船舶安全法
航空法
港則法

16. その他の情報

参考文献

NITE-CHRIP(製品評価技術基盤機構HP)
16615の化学商品(化学工業日報社)
職場のあんぜんサイト(厚労省HP)
NITE-GHS分類結果(製品評価技術基盤機構HP)

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではあり
ません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ
等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではあり
ませんので取り扱いには十分注意して下さい。